

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 28 日

静岡県知事 様

提出者

住 所 〒437-1623

静岡県御前崎市港6620番-78他

氏 名

東洋・日鉄特定建設工事共同企業体

現場代理人 須田 和典

(連絡先)工事責任者 迫田文明

電話番号

[Tel:0548-23-3255](tel:0548-23-3255), [Fax:0548-23-3256](tel:0548-23-3256)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	御前崎港バイオマス発電所建設工事 (JV名:東洋・日鉄特定建設工事共同企業体であり、東洋エンジニアリング(株)が代表会社)
事業場の所在地	静岡県御前崎市港6620番-78他
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	完成工事高:約330億円(共同企業体の総額)
③ 従業員数	約50人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	収集運搬業者及び処分業者へ委託

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

東洋・日鉄特定建設共同企業体 代表会社: 東洋エンジニアリング(株)千葉本社
プロジェクト本部(環境支援:HSEマネジメント部)

↓

御前崎バイオマス発電建設工事 統括安全衛生責任者(現場代理人)

↓

産業廃棄物管理責任者(元方安全衛生管理者)及び協力会社の安全衛生管理者(各社の所長)

↕(契約)

委託業者(収集運搬業者および処分業者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】		別紙1のとおり。	
①現状	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	アスコン及びコンクリート屑の排出量減量に努めました。		
②計画	【目標】 別紙1のとおり。		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
積極的に、減量化・再利用を推進します。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物が発生した場合、できるだけ単体廃棄物に分別するように心がけています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 積極的に、減量化・再利用を推進します。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1のとおり。	
①現状	【前年度(令和5年度) 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	積極的に、再生利用業者に引き取ってもらい、100%再生利用を目指しています。		
②計画	【目 標】 別紙1のとおり。		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	積極的に、再生利用業者に引き取ってもらい、100%再生利用を目指しています。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1のとおり。	
①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
特にありません。			
②計画	【目 標】 別紙1のとおり。		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特にありません。			



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙1のとおり。	
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特にありません。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特にありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙1のとおり。	
①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) なるべく再生利用業者に委託するようにして、再生利用を積極的に行っています。実績のある業者へ収集運搬・処分を委託しています。			

②計画	【目標】 別紙1のとおり。			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組) 積極的に、減量化・再利用を推進している業者を選定し、委託しています。				
※事務処理欄				

別添 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

(別紙1)

実績：前年度（令和5年度）実績量

目標：今年度（令和6年度）目標量

単位：トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②)+ (⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③)+ (⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
コンクリート破片	220	20									220	20			220	20				
アスファルト・コンクリート破片	939	70									939	70			939	70				
がれき類	8	10									8	10			8	10				
廃プラスチック類	0	0									0	0			0	0				
金属くず	0	0									0	0			0	0				
安定型混合廃棄物	0	0									0	0			0	0				
木くず	207	50									207	50			207	50				
繊維くず	0	0									0	0			0	0				
廃石膏ボード	0	0									0	0			0	0				
管理型混合廃棄物	220	50									220	50			220	50				
特別管理廃棄物 廃石綿	0	0									0	0			0	0				
引火性廃油(有害)	0	0									0	0			0	0				
強アルカリ	11	0									11	0			11	0				
廃酸	0	0									0	0			0	0				
廃油(無害)	1	5									1	5			1	5				
紙くず	44	10									44	10			44	10				
ガラス屑・陶磁器屑	515	50									515	50			515	50				
建設汚泥	45	35									45	35			45	35				
合計	2209	300	0	0	0	0	0	0	0	0	2209	300	0	0	2209	300	0	0	0	0

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

